

NP021 世紀水倶楽部（資源活用型下水道システム部会） 2023年12月11日

「下水汚泥肥料利用の加速化を図る研究集会～肥料使用における国内資源利用率 40%を目指して～」開催要領案

主催：NP021 世紀水倶楽部
協力：（一社）日本下水道施設業協会

1 開催趣旨：

21世紀水倶楽部 SKG 部会は、下水道の下水・処理水及び汚泥・再生エネルギー等の活用を目指して研究集会開催等の活動をしてまいりました。

昨年度設立された「下水汚泥資源の拡大に向けた官民検討会」の審議をふまえ、国、地方公共団体及び原料供給事業者、肥料製造事業者、耕種農家が連携し様々な活動を展開しています。本研究集会では、このような情勢を踏まえ、この取り組みの推進役である国土交通省、農林水産省及び実施主体である自治体、民間企業の方々並びに当倶楽部の会員により、下水汚泥の肥料利用の社会的意義、菌体りん酸肥料公定規格化等の肥料化促進策と課題、大都市における最新情報および国内外の事例について紹介いただきます。そして、総合討論では、今後の下水汚泥肥料化の加速策、耕種農家への働きかけ方などについて議論いただきます。

2 開催方法：会場＋オンライン併用形式 定員は会場 40 名、オンライン 80 名です。

3 開催日時：2024年2月7日（水）13時30分～17時

4 場所：馬事畜産会館大会議室 東京都中央区新川 2-6-16 2F

- 5 講演プログラム
- | | |
|---|---------------------------|
| 司会（開催案内） | 21世紀水倶楽部理事 秋山礼子 |
| 13：40 挨拶 | 21世紀水倶楽部理事長 栗原秀人 |
| 13：45 挨拶 | （一社）日本下水道施設業協会 専務理事 原田一郎氏 |
| 13：50 「下水汚泥資源の肥料利用拡大について」 | |
| 国土交通省では、下水汚泥資源の肥料利用拡大に向けた取り組みを進めているところであり、その背景や取り組みの方向性、農林水産省との連携や実施中の施策について紹介する。 | |
| 国土交通省下水道部下水道企画課 下水道国際・技術室長 西 修氏 | |
| 14：10 「汚泥資源を使用した肥料成分を保証可能な新たな公定規格（菌体りん酸肥料）について」 | |
| 汚泥資源の肥料利用をさらに推進するため、今般、新たな公定規格「菌体りん酸肥料」を創設したところ。その概要や従来の汚泥肥料との違いなどについて説明する。 | |
| 農林水産省 消費・安全局農産安全管理課課長補佐 瀧山幸千夫氏 | |
| 14：30 「東京都産下水再生リンの広域での利用に向けて」 | |
| 東京都の下水汚泥に含まれるリンのポテンシャルは国内最大となっている。B-DASH プロジェクトの実施状況とあわせ、リン利用の広域展開について展望する。 | |
| 東京都下水道局 技術開発担当部長 家壽田昌司氏 | |
| 15：00 「下水汚泥肥料化と地域との連携事例と菌体りん酸肥料への期待」 | |
| 下水汚泥の肥料化についての重要な点である安定運用と販路確保、そして各方面が期待する新規格である菌体りん酸肥料について紹介する。 | |
| 株式会社アサギリ代表取締役社長 簗 威頼氏 | |

15：20 「海外における下水汚泥の肥料利用とリン回収の動向」

下水汚泥の肥料利用と下水汚泥からのリン回収利用について、EUを中心とした海外の状況及び動向を紹介する。

21世紀水倶楽部理事 村上孝雄

15：40 休憩

16：00 総合討論

コーディネーター

理事 村上孝雄

17：00 閉会挨拶

21世紀水倶楽部 SKG 部会長 清水 洽

17：15 交流会 同会場 会費 1000 円

6 参加費（資料代含む）：

会場参加者：1000円 ただし、以下に所属する方は無料：国・地方公共団体、教育関係機関、日本下水道施設業協会会員企業及び当倶楽部会員

オンライン参加者：無料

7 参加申込み：2024年1月22日（月）までに、研究集会[参加登録フォーム](#)からお願いいたします。（但し、定員に達した時点で締切ります。）

募集人数：会場40名 オンライン80名 参加者には、後日、招待メールを送付しますので、必ず Zoom を使用する時のメール アドレスをご記入下さい。

8 問い合わせ E-mail：sympo-info2@21water.jp

9 継続学習 (CPD)：(公社) 全国上下水道コンサルタント協会の CPD 認定プログラム申請中